

薩摩硫黄島の火山活動 —1999年2月～6月—

Volcanic Activity of Satsuma-Iojima Volcano —February 1999-June 1999—

福岡管区气象台
鹿児島地方气象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

薩摩硫黄島の、1999年（平成11年）2月から6月にかけての活動状況について、福岡管区气象台が行っている火山機動観測（基礎調査）の結果等に基づいて報告する。

1. 震動観測

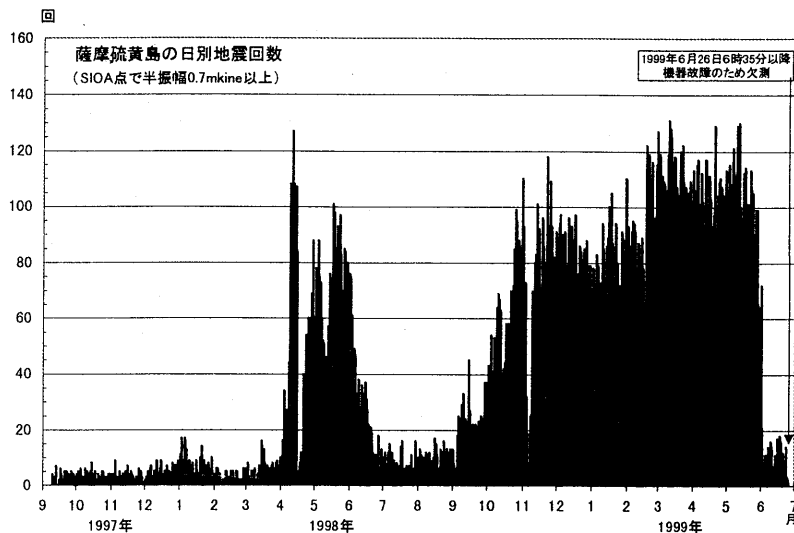
第1図に1997年（平成9年）9月10日から1999年（平成11年）6月30日までの日別地震回数を示す。地震回数はSIOA点での上下動成分の半振幅が0.7mkine以上のものを計数している。1999年（平成11年）2月の地震回数は1日あたり50～100回程度であったが、3月以降は90～130回程度に増加して推移した。6月に入ると地震回数は減少し、3日以降は1日あたり数回から数十回となった。

また1999年5月20日から6月16日まで、振幅が小さな微動を断続的に観測した。しかし、表面現象や地震回数に大きな変化はなかった。

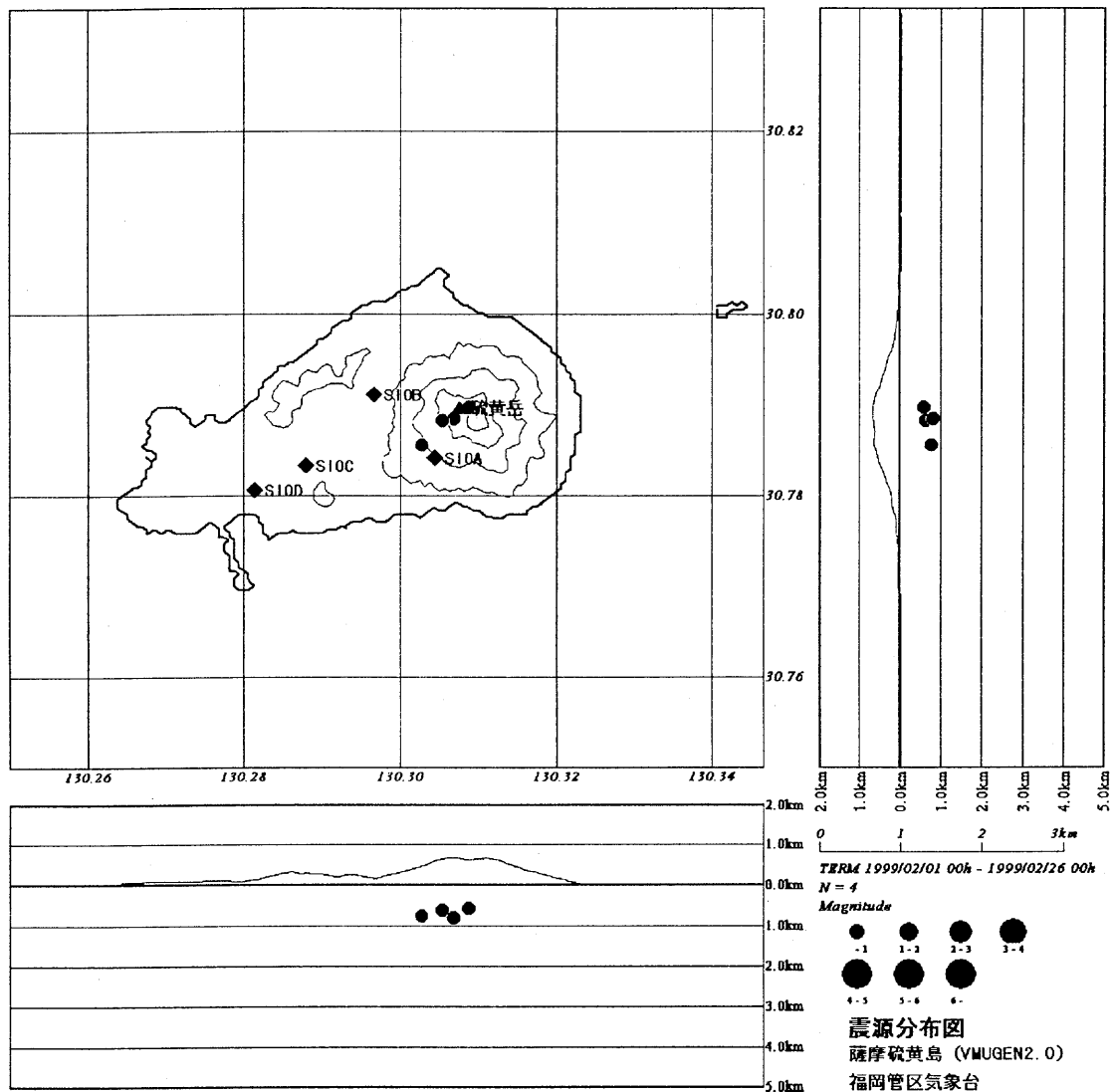
第2図に震源分布図を示す。波形の位相が読みにくい地震が大部分で震源決定された地震は少ないが、震源は山体直下周辺に分布している。なお、2月25日にSIOB点、SIOC点、SIOD点を撤収した。

2. 降灰の状況等

三島村役場によると、1999年2月14日、5月30日、6月3、4、5、22、23日に少量の降灰が確認された。



第1図 薩摩硫黄島の日別地震回数（SIOA点）（1997年9月10日～1999年6月30日）
Fig. 1 Daily frequency of volcanic earthquakes at Satsuma-Iojima volcano.
(Seismic station SIOA : Sep. 10, 1997-June 30, 1999)



第2図 震源分布図 (1999年2月1日~2月25日)
 速度構造モデルは、P波速度2.0km/sの半無限構造を用いた

Fig. 2 Hypocenter distribution of the volcanic earthquakes under Satsuma-Iojima Volcano, from February 1 to 25, 1999.